

メーデー宣言

本日、私たちは労働者・国民の団結と連帯の力で第 86 回中央メーデーを成功させました。集会は、歴史的岐路にある「戦後・被爆 70 年」の節目の年に、安倍「暴走」政治に国民共同の力でストップをかけるため、職場・地域からのたたかいを強めていくことを確認しあいました。

◇すべての働く仲間のみなさん

22 ヶ月連続の実質賃金マイナスや不安定雇用労働者の増大、物価高・消費税増税による新たな負担増で国民生活は危機に瀕しています。一方で、金融を除く上場企業の 2015 年 3 月期業績は、合計営業利益が 32 兆円にもものぼっています。トヨタをはじめ過去最高益を更新する企業が 500 社を超えるなど、大企業・富裕層の「一人勝ち状態」にあります。「21 世紀の資本」の著者、トマ・ピケティ氏も 2010 年以降の日本がヨーロッパ以上に格差が拡大していると指摘しています。

東日本大震災から 4 年、被災地の復興は遅々として進まず、震災の風化のなか、被災者は生活苦に沈み、将来を思い描けない筆舌に尽くしがたい失望を味わっています。

◇すべての働く仲間のみなさん

日本の労働者は、年間 2000 時間もの長時間過密労働を強いられています。さらに安倍政権は派遣法改悪案や残業代ゼロ法案など労働法制の全面改悪を今国会でおこなおうとしています。とくに労働時間法制の見直しは、メーデーの起源「8 時間労働制」を根幹から崩すものであり、ディーセントワーク実現という世界の流れに逆向するものです。労働界共同の力で三度、廃案に追い込んでいきましょう。春闘後半にむけ、職場・地域から生活改善にむけた賃上げと底上げ、制度政策要求の実現にむけ粘り強くたたかっていきましょう。

安倍「暴走」政治に対して、「オール沖縄」の新基地建設強行反対をはじめ、「オール福島」の全原発廃炉、「オール北海道」の TPP 交渉撤退要求、各地の弁護士会による集団的自衛権の行使容認撤回を求める取り組みなど様々な分野の運動が進められてきました。こうした取り組みは「安倍政権 NO」の国民的共同へと発展し、国民の総反撃がはじまっています。

◇すべての働く仲間のみなさん

世界の労働者は国の緊縮財政政策に反対し、ヨーロッパを中心にストライキや行動に決起しています。またファストフード労働者の時給引き上げや TPP 交渉撤退要求など、新自由主義に反対し、「貧困と格差」解消を求めるたたかいは世界の労働者の共通課題です。アジアや世界の労働者との団結・連帯してたたかいを強めていきます。

『戦争する国づくり』反対。安倍『暴走』政治ストップ。大幅賃上げ実現。8 時間労働を守れ。労働法制改悪反対。消費税 10%増税中止、TPP 交渉撤退。被災者が希望のもてる早期復興、原発ゼロの日本」の実現をめざしていきましょう

働くものの団結万歳！ 世界の労働者万歳！ 第 86 回中央メーデー万歳！

2015 年 5 月 1 日

第 86 回中央メーデー集会